

### 第三者評価結果

事業所名：障がい者支援施設 虹の家

#### A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1-(1) 自己決定の尊重	第三者評価結果
<p>【A1】 A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p>	
<p>年2回、利用者アンケートを実施し、利用者の声を聞き、サービス管理責任者が中心になって個別支援計画を作成している。アンケートでの確認が難しい利用者には、視覚カードなどを使用し本人の思いや意向を汲み取っている。利用者の状態の変化や思いに応じて、再アセスメントし、サービス担当者会議で変化に応じた支援計画を作成している。月1回開催する「みんなの会」では、利用者が会長や副会長、書記を選び、生活上のルールや行事の内容などを話し合っている。嗜好品や服の購入は、個別支援での外出やインターネットの通販で、利用者自身が好みの物を選択して購入している。</p>	
A-1-(2) 権利擁護	第三者評価結果
<p>【A2】 A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p>	
<p>事業計画書に、権利擁護に対する取り組みを記載し、全職員で読み合せを行っている。新聞やニュースに権利侵害の事件が出た時には、その都度、朝・夕の引継ぎ時に、職員間で内容を確認している。利用者には「みんなの会」で周知している。また、外部の権利擁護研修や、施設内研修で再確認している。職員が自己点検チェックシートに取り組み、結果は、2ヶ月に1回開催する障がい者虐待・身体拘束防止委員会で集計し、職員室内に掲示したり、パソコンで閲覧できるようにしている。マニュアルは、1、2階の職員室でいつでも閲覧できるようにしている。日々の支援では、同性介助やおむつ交換時のプライバシーの確保、利用者の居室への入室時のノックなど、徹底した対応を行っている。</p>	

#### A-2 生活支援

A-2-(1) 支援の基本	第三者評価結果
<p>【A3】 A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p>	
<p>個別支援計画は、心身の状況や生活習慣、本人の意向や将来の希望などを確認して作成している。利用者自身が持っている能力（ストレングス）を引き出す支援を心掛け、入所前にできていたことが入所後に途切れることがないように支援している。入所前には経験しなかったショッピングモールへの外出、流行りの服などの情報を提供し、利用者が自分の意思で選択できるように支援している。マイナス面より常にプラス面をみて、できたことを賞賛して、本人の意欲につなげている。「気づきノート」から、新たな能力に気づくこともあり、PDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）で見直しを行い、自立につなげている。</p>	
<p>【A4】 A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p>	
<p>日々の生活の中で、「傾聴」「共感」「受容」などに気を配りながら、信頼関係を築いている。言葉での対応が難しい場合は、筆談や絵カード、写真を活用したり、表情や声のトーン、手振りや指差し、視線などで本人のサインを読み取るようにしている。利用者の特性に応じた個別の対応は、職員間で共有している。利用者からの相談は、落ち着いた環境（場所、相手）を選んで、対応できるよう配慮している。周りに聞こえないよう、筆談でやり取りする場合もある。また、月1回のオンブズマンの来所時は、相談室だけでなく、利用者の活動場所にて話を聞いている。</p>	

【A5】 A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a
--	---

<コメント>

日々の活動は、活動内容を記載したホワイトボードを使用し、利用者自身に選択してもらっている。毎月開催する当事者委員会「みんなの会」や「悩み相談窓口」「オンブズマン」などで利用者の声を聞く他、担当者が居室などに出向き、ゆっくりと話を聞くことにしている。相談窓口には、男女1名ずつの職員を配置し、相談しやすい環境を整えている。利用者からの相談内容は、職員間で検討し、結果を利用者に伝えたり、内容によってはサービス担当者会議で本人や多職種と協議し、個別支援計画につなげている。利用者の思いを大切に受け止め、真摯に向き合うようにしている。

【A6】 A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a
--	---

<コメント>

個別支援計画に基づき、利用者は施設周辺の散歩や、野菜・花の栽培、烏骨鶏・アローカナなどの鶏の飼育、福祉ショップやイベントでの自主製品や野菜、卵の販売を行っている。重度高齢の利用者にはiPadを使用し、リトミック（音楽的効果の他・想像力・注意力・集中力・思考力を引き出す）で機能維持の支援に取り組んでいる。活動の選択は、毎朝、活動内容をホワイトボード（絵カードや写真を使用）で説明し、利用者を選択してもらっている。日々の活動の他、利用者の希望を募り、バーベキューや外出などを企画、実施している。外出は利用者の希望を聞き、少人数でミュージアムや水族館、牧場などに出かけている。

【A7】 A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a
---	---

<コメント>

利用者の半数に、てんかんの既往があり、統一した支援を提供できるようにしている。利用者の高齢化が進み、高齢者の介助方法など、同一法人内の高齢者施設に研修に出向いたり、介護技術の講師を依頼したりしている。個人の介助方法は、朝・夕の引継ぎや支援記録システムで共有している。また、嚥下が困難な利用者については、医療を含む多職種と連携し、食事形態や食事介助方法、摂食機能などを検証しながら支援している。施設外研修に参加した職員は、施設内研修にて内容を伝達している。医療の基礎知識は施設内研修やマニュアルの読み合わせで習得し、利用者の状況に応じて、多職種による支援を提供している。

A-2-(2) 日常的な生活支援 第三者評価結果

【A8】 A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a
--	---

<コメント>

利用者の排泄や食事、入浴の介助は、個別の詳細な支援方法を決めて、職員間で統一した支援を提供している。嗜好調査の結果や「みんなの会」の意見は、食事のメニューなど、生活しやすいよう利用者の声を反映している。本人の希望や、保健給食委員会で嚥下力を協議し、食形態を選んで提供している。イベント食を提供し、月1回の選択メニューでは写真を提示して、利用者の楽しみにつなげている。入浴はその日の体調などを職員間で情報を共有して、事故を防止している。排泄に支援が必要な利用者は、排泄量などを確認して、水分摂取量などを調整している。おむつ交換時は、カーテンなどでプライバシーに配慮している。職員は、生活支援の中で気づいたことを「気づきノート」に記載し、本人の情報を共有している。

A-2-(3) 生活環境 第三者評価結果

【A9】 A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a
---	---

<コメント>

安全管理マニュアルを整え、月1回、日常点検表でチェックし、修繕が必要な箇所は迅速に対応している。利用者の居室の清掃は、週1回、居室清掃確認表で確認して、職員がフォローしている。日常の施設内の清掃は職員が担い、浴槽清掃と害虫駆除は業者に委託している。感染症対策として、日に3回、手すりを中心に職員が消毒をしている。居室は快適な空調とコーナーガードや手すりの設置で、怪我や転倒を防止している。また、行動面で、他利用者に影響与えるような場合は、一時的に静かな部屋で落ち着いてもらうようにしている。居室は2人部屋で「利用者の相性」について棟会議で話し合いを行っている。居室変更の調整もある。

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練	第三者評価結果
【A10】 A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>本人の意向や心身の状況を把握し、本人を含めた多職種との話し合いで、機能訓練や生活訓練を行っている。利用者の心身状況の変化や本人の意向を受けて、支援の見直しを行っている。機能訓練は、大きな目標より、実現可能な目標を決めて、利用者の達成感やモチベーションを高め、次のステップへとつなげている。また、声かけにおいても、「ここまで、歩けると、お気に入りの喫茶店に行けずね」など、本人の楽しみや意欲を引き出せるような声かけを工夫している。また、病院や理学療法士との連携を取り、歩行訓練なども実施している。</p>	
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援	第三者評価結果
【A11】 A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年2回健康診断を実施する他、1日3回の検温と月1回の体重測定、必要に応じて血圧や酸素飽和度のチェックを行っている。体温の平均値を把握しておくことで、体調の変化に気づく目安としている。自ら体調不良を訴えることができない利用者については、支援マニュアル・健康管理を参考に「表情、声、しぐさ」など、いつもと違う点に気づくよう留意している。健康診断で再検査となった場合は、主治医の説明を本人と一緒に聞き、家族へ報告している。受診の結果や身体の変化は、朝・夕礼で引継ぎ、支援記録システムで共有している。緊急時対応マニュアルを職員室や宿直室に置き、迅速に対応できるようにしている。</p>	
【A12】 A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>薬は医務室の施錠できる棚で管理している。与薬時は2人の職員で対応し、ダブルチェックをし、空き袋は、専用の袋に入れている。通院記録や薬の変更内容は、支援記録システムに入力して情報を共有している。利用者の体調不良や怪我は、医務課や医療機関と連携して対応している。アレルギー食の対応は、本人のテーブル席に、ラップの上に名前を書いて、職員が直接配膳している。新型コロナウイルスなどの感染時には、エリアで区切り、防護服で対応している。医務研修に関しては、年2回の研修を実施している。</p>	
A-2-(6) 社会参加、学習支援	第三者評価結果
【A13】 A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>レインボーサロンで、自主製品や野菜の販売、接客を行う他、育てた花をプランターへ植え替え、近隣の病院や公園などに届けている。また、月1回、近隣に広報誌を配布する時は、防犯パトロールのベストを着用して回ることで防犯活動の一助としている。利用者は、販売時の接客や金銭の授受などで社会生活を学習している。手紙を書きたい利用者とは、一緒に宛名書きの練習をすることもあ。個別支援計画書には、利用者の「身体を動かしたい」「自主製品の販売をしたい」などの希望は、ご本人の意向として記載している。利用者の体調や希望を聞いて、その日の具体的な活動を選択してもらっている。</p>	
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	第三者評価結果
【A14】 A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者アンケートや意向調査で、本人の希望を確認している。両親が高齢となり、自宅へ戻るという選択は厳しくなっており、グループホームや医療的サポートのある場への移行となっている。グループホームへ移行の際は、自立した生活を目指し、そのために取り組むことを本人と確認しながら準備している。相談員と連携し、社会資源などの情報を提供して、本人の不利益につながらないよう配慮している。</p>	

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援	第三者評価結果
【A15】 A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a
<コメント>	
年1回、家族との面談を実施し、意見交換を行っている。また、利用者や家族の意向をふまえ、帰宅や面会の支援をしている。帰宅時には、連絡帳に写真を添え、利用者の日々の様子を伝えている。帰宅が難しい利用者は、毎月、家族や後見人あて、電話で生活の様子などを報告している。コロナ禍も落ち着いてきたことから、施設の行事に家族を招待し、利用者と一緒に楽しんでもらっている。利用者の急変時は、事故初期対応マニュアルに沿って家族に連絡している。現在、利用者の半数程に成年後見人が選任されており、今後も成年後見制度の活用についてアドバイスしていく予定である。スムーズな後見制度の活用を、法人全体で後押ししている。	

### A-3 発達支援

A-3-(1) 発達支援	第三者評価結果
【A16】 A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	
<コメント>	
障がい者の施設入所支援、生活介護の事業所のため評価外とする。	

### A-4 就労支援

A-4-(1) 就労支援	第三者評価結果
【A17】 A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	
<コメント>	
障がい者の施設入所支援、生活介護の事業所のため評価外とする。	
【A18】 A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるような取組と配慮を行っている。	
<コメント>	
障がい者の施設入所支援、生活介護の事業所のため評価外とする。	
【A19】 A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	
<コメント>	
障がい者の施設入所支援、生活介護の事業所のため評価外とする。	